



健康・福祉・介護のひろば

問合せ 健康福祉課 ☎66・3111 健康担当124・128 福祉担当134・135 介護保険担当133 地域包括支援センター132

新社会人応援献血キャンペーン

県と県赤十字血液センターは、今春社会人になった方を対象に「新社会人応援献血キャンペーン」を実施しています。

新社会人の方が県内の献血ルームや献血バスで献血を申し込んでいただくと、埼玉県限定デザインの「吸水マイクロファイバー傘カバー」を差し上げます！

社会人になった記念に、社会貢献の一つである献血にチャレンジしてみませんか？

対象 16歳以上で令和2年度に新社会人になった方

期日 6月30日(火)まで

場所 県内の献血ルーム（7箇所）、県内を巡回する献血バス

問合せ 県薬務課 ☎048・830・3635

ひきこもり支援のご案内

「人と話すことが苦手、外出が困難」「身近にひきこもりの人がいるけれど、どう対応してよいかわからない…」等のお悩みを抱える方向けに、公認心理師による「ひきこもり専門相談」を実施します（個別予約制）。

日時 原則奇数月 第1火曜日 午後1時30分～午後3時

場所 秩父保健所

参加費 無料

問合せ 秩父保健所 ☎22・3824

6月20日から7月19日までは「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実施期間です

大麻・覚醒剤・麻薬・危険ドラッグなどの薬物乱用は、個人の問題にとどまらず、社会全体に計り知れない危害をもたらします。

薬物乱用は自分の人生だけでなく、家族や友人の人生までも狂わせてしまいます。「ちょっとなら…」といった甘い考えは命取りです。薬物乱用は1回でも「ダメ。ゼッタイ。」

薬物乱用のない社会を実現するためには、県民の皆さんの薬物乱用防止に対する正しい理解が必要です。

県では、「彩の国さいたま『ダメ。ゼッタイ。』普及運動」として薬物乱用防止を呼び掛ける街頭キャンペーン及び薬物乱用防止を目的とする国連支援募金活動を実施します。

正しい知識を身につけ、薬物乱用を根絶しましょう。薬物でお困りの人は、ご相談ください。

問合せ 秩父保健所 ☎22・3824

更生相談

身体障害者の更生援護に必要な専門的な知識・技術についての相談及び指導を実施しています。補装具の処方及び適合判定、施設入所の判定、その他医療相談を無料で受けることができます。

（手足・体の障害の相談）

・5月26日(火) 秩父福祉事務所

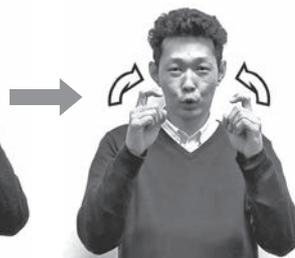
予約制ですので、早めに健康福祉課（☎66・3111内線135）へご連絡ください。

簡単な手話を覚えましょう【第2回】

「あいさつ」の手話表現



向かい合わせて立てた両手の人差し指を、



同時に曲げます。



動画はこちらから

協力：ちちぶ広域聴覚障害者協会

問合せ 健康福祉課福祉担当 ☎66・3111 内線135